

微生物検出状況・薬剤感受性に関する調査 2023年

2024年国公立大学附属病院感染対策協議会総会資料の一部を抜粋して再編集

サーベイランス作業部会
臨床検査技師部会

- **集計対象期間**

2023年1月～2023年12月

- **対象**

国公立大学附属病院感染対策協議会参加校 55大学

- **項目**

ESBLの検出状況

カルバペネマーゼ産生腸内細菌目細菌（CPE）の検出状況

ESBLの検出状況

- 対象菌種

E. coli、*K. pneumoniae*、*K. oxytoca*、*P. mirabilis*

- 集計対象

入院・外来を含む薬剤感受性実施株（監視培養を含む）

- データ抽出方法（各施設が実施）

菌種毎に 1患者1株/1年の**重複処理**を行い、**総株数**と**ESBL株数**を算出

- 計算方法

ESBLの割合(%) = $\text{ESBL株数} \div \text{総株数} \times 100$

- 集計その1（ブロック毎のESBLの割合）

地区ブロック内のESBL株数合計および総株数合計からESBLの割合（%）を算出

- 集計その2（ESBLの割合の分布）

①施設毎にESBLの割合（%）を算出

②各施設のESBLの割合を基にブロック内の四分位範囲を算出

【データ抽出方法の例：対象菌種が*E. coli*の場合】

- ① 2023年1月～2023年12月の期間中に薬剤感受性を実施した *E. coli* を抽出する。
- ② 同一患者において *E. coli* の薬剤感受性が複数回実施されていた場合、重複処理により1患者の *E. coli* 株数は1株として数える。
- ③ 重複処理後の *E. coli* 株数合計を**総株数**とする。総株数にはESBL株数と非ESBL株数が含まれる。
- ④ **ESBL株数**は薬剤感受性実施株の中でESBLと判定された株（1患者1株/1年、初回分離株を採用）の合計とする。

E. coli

ブ ロ ッ ク 名	施設数	株数		ブロック内の ESBLの割合*1 (%)	ESBLの割合（%）の分布*2		
		E. coli ESBL	E. coli (総株数)		25%値	中央値	75%値
北海道・東北	8	544	3,702	14.7	11.9	13.2	16.0
関東・甲信越	12	946	5,754	16.4	12.6	16.4	19.1
東海・北陸	8	721	3,738	19.3	16.1	19.5	21.3
関西	8	1,133	4,780	23.7	20.0	25.4	25.7
中国・四国	9	1,146	4,914	23.3	21.0	22.2	23.2
九州・沖縄	8	900	3,486	25.8	23.4	25.0	28.6
全施設	53	5,390	26,374	20.4	14.8	20.5	23.4

*1 ブロック内のESBLの割合 = (ブロック内のE. coli ESBL株数) ÷ (ブロック内のE. coli 総株数) × 100

*2 各施設毎に算出したESBLの割合を基に集計。 各施設のESBLの割合 = (各施設のE. coli ESBL株数) ÷ (各施設のE. coli 総株数) × 100

K. pneumoniae

ブ ロ ッ ク 名	施設数	株数		ブロック内の ESBLの割合*1 (%)	ESBLの割合（％）の分布*2		
		K. pneumoniae ESBL	K. pneumoniae (総株数)		25%値	中央値	75%値
北海道・東北	8	73	1,451	5.0	2.5	3.9	5.0
関東・甲信越	12	207	2,800	7.4	4.3	6.8	9.2
東海・北陸	8	118	1,704	6.9	5.4	7.0	8.0
関西	8	274	1,986	13.8	12.2	14.8	19.9
中国・四国	9	122	1,950	6.3	3.0	5.7	7.3
九州・沖縄	8	178	1,691	10.5	7.8	9.3	12.5
全施設	53	972	11,582	8.4	4.3	7.3	10.1

*1 ブロック内のESBLの割合 = (ブロック内のK. pneumoniae ESBL株数) ÷ (ブロック内のK. pneumoniae 総株数) × 100

*2 各施設毎に算出したESBLの割合を基に集計。 各施設のESBLの割合 = (各施設のK. pneumoniae ESBL株数) ÷ (各施設のK. pneumoniae 総株数) × 100

K. oxytoca

ブ ロ ッ ク 名	施設数	株数		ブ ロ ッ ク 内 の ESBL の 割 合 *1 (%)	ESBL の 割 合 (%) の 分 布 *2		
		<i>K. oxytoca</i> ESBL	<i>K. oxytoca</i> (総株数)		25%値	中央値	75%値
北海道・東北	8	32	822	3.9	1.0	2.6	5.7
関東・甲信越	12	45	1,179	3.8	1.4	2.2	5.9
東海・北陸	8	19	641	3.0	0.9	3.0	4.4
関西	8	18	650	2.8	1.9	2.5	3.4
中国・四国	9	46	814	5.7	1.6	3.1	4.7
九州・沖縄	8	28	555	5.0	1.3	2.0	10.2
全施設	53	188	4,661	4.0	1.1	2.3	5.8

*1 ブロック内のESBLの割合 = (ブロック内の*K. oxytoca* ESBL株数) ÷ (ブロック内の*K. oxytoca* 総株数) ×100

*2 各施設毎に算出したESBLの割合を基に集計。 各施設のESBLの割合 = (各施設の*K. oxytoca* ESBL株数) ÷ (各施設の*K. oxytoca* 総株数) ×100

P. mirabilis

ブ ロ ッ ク 名	施設数	株数		ブ ロ ッ ク 内 の ESBL の 割 合 *1 (%)	ESBL の 割 合 (%) の 分 布 *2		
		P. mirabilis ESBL	P. mirabilis (総株数)		25%値	中央値	75%値
北海道・東北	8	24	322	7.5	5.4	5.8	8.1
関東・甲信越	12	43	512	8.4	2.7	6.9	11.6
東海・北陸	8	13	279	4.7	0.0	3.0	5.7
関西	8	32	352	9.1	4.9	9.8	11.9
中国・四国	9	17	387	4.4	2.3	2.7	6.5
九州・沖縄	8	16	313	5.1	2.4	3.6	6.1
全施設	53	145	2,165	6.7	2.6	5.4	9.1

*1 ブロック内のESBLの割合 = (ブロック内の*P. mirabilis* ESBL株数) ÷ (ブロック内の*P. mirabilis* 総株数) × 100

*2 各施設毎に算出したESBLの割合を基に集計。 各施設のESBLの割合 = (各施設の*P. mirabilis* ESBL株数) ÷ (各施設の*P. mirabilis* 総株数) × 100

CPEの検出状況（2023）

- 対象

腸内細菌目細菌

- 各施設による集計

対象は各々の施設が何らかの方法でカルバペネマーゼ産生を確認した株とし、1患者1株で集計

- 集計

各施設のCPE株数を基にブロック内の合計・平均・SD・四分位範囲を算出

ブロック名	施設数	株数					
		合計	平均	SD	25%値	中央値	75%値
北海道・東北	8	7	0.9	1.5	0.0	0.0	1.3
関東・甲信越	12	22	1.8	1.9	0.0	1.5	3.3
東海・北陸	8	8	1.0	1.4	0.0	0.0	2.3
関西	8	22	2.8	3.9	0.0	1.0	3.8
中国・四国	9	2	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0
九州・沖縄	8	18	2.3	4.4	0.0	1.0	1.3
全施設	53	79	1.5	2.6	0.0	0.0	2.0

菌種	株数
<i>E. cloacae</i> complex	30
<i>K. pneumoniae</i>	25
<i>C. freundii</i> complex	9
<i>E. coli</i>	7
<i>K. oxytoca</i>	4
<i>M. morganii</i>	2
<i>Enterobacter aerogenes</i>	1
<i>Providencia rettgeri</i>	1
合計	79